

平成25年 1月28日  
福島県土木部砂防課  
福島河川国道事務所  
北陸地方整備局河川部

## 安達太良山・磐梯山噴火時の被害減災のため 緊急減災対策砂防計画の第2回作業部会を行います！

～学識経験者や防災行政関係者により  
「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催～

火山噴火に伴う土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために、火山及び砂防の学識者と防災行政関係者からなる委員会を平成22年度に設置し、福島県内の火山について減災計画の検討を行ってきました。

今回は、安達太良山・磐梯山の2火山について、昨年11月に開催された第1回合同作業部会に引き続き「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討をするための第2回合同作業部会を開催します。

日 時：平成25年2月1日（金）

13：00～16：00

「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会・第2回安達太良山・磐梯山  
合同作業部会」

※参考資料 次第（別紙1）、名簿（別紙2）

場 所：コラッセふくしま 4F 多目的ホール ※位置図（別紙3）

内 容：①安達太良山 ※概要（別紙4）

「想定される影響範囲と被害の把握」及び「対策方針の検討」について

②磐梯山 ※概要（別紙5）

「噴火シナリオの作成」について

報道の皆様へ：当日は建物内でのワイヤレスマイクの使用はできませんので、御配慮いただきますようお願いいたします

記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者会、新潟県政記者クラブ、新県政記者クラブ、その他・専門紙

問い合わせ先

福島県土木部砂防課

TEL：024-521-7491（直通）

主幹兼副課長 小川 辰壽

安達太良山について

国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL：024-546-4331（代表）

副所長（河川） 畠山 浩晃

調査第一課長 太平 知秀

磐梯山について

国土交通省北陸地方整備局 河川部

TEL：025-280-8880（代表）

地域河川調整官 東川 敏

建設専門官 福田 光生

平成 24 年度  
福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会  
合同作業部会

〔 第 2 回 安達太良山作業部会  
第 2 回 磐梯山作業部会 〕

日 時 : 平成 25 年 2 月 1 日 (金) 13:00~16:00  
場 所 : コラッセふくしま 4F 多目的ホール

議 事 次 第 (案)

1. 開 会
2. 開会挨拶
3. 部会委員紹介
4. 部会長挨拶
5. 議 事
  - 1) 安達太良山について
    - ・ 第 1 回作業部会の指摘事項と対応方針
    - ・ 想定される影響範囲と被害の把握
    - ・ 対策方針の検討
  - 2) 磐梯山について
    - ・ 第 1 回作業部会の指摘事項と対応方針
    - ・ 噴火シナリオの作成
6. 閉 会

## 福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 安達太良山作業部会名簿

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	藤縄 明彦	茨城大学理学部 教授
	岡本 敦	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	中山 浩次	林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署長
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小松 一彦	福島県 生活環境部 災害対策課長
	稲本 太一郎	福島県 農林水産部 森林保全課長
	瀬戸 孝則	福島市長
	前後 公	猪苗代町長
	原 正夫	郡山市長
	三保 恵一	二本松市長
	高松 義行	本宮市長
	浅和 定次	大玉村長
	吉田 明博	国土交通省 気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	澤田 雅善	国土交通省 気象庁 福島地方气象台 防災業務課長
	横山 喜代太	国土交通省 東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官
	東川 敏	国土交通省 北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	安部 勝也	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長
【事務局】		福島県土木部 砂防課
		国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

## 福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 磐梯山作業部会名簿

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院 准教授
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	中村 洋一	宇都宮大学教育学部 教授
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	岡本 敦	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小松 一彦	福島県 生活環境部 災害対策課長
	稲本 太一郎	福島県 農林水産部 森林保全課長
	前後 公	猪苗代町長
	小椋 敏一	北塩原村長
	原 正夫	郡山市長
	室井 照平	会津若松市長
	山口 信也	喜多方市長
	五十嵐 源市	磐梯町長
	吉田 明博	国土交通省 気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	澤田 雅善	国土交通省 気象庁 福島地方气象台 防災業務課長
	東川 敏	国土交通省 北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	田部 成幸	国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所長
	仲村 学	国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所長
【事務局】		福島県土木部 砂防課
		国土交通省 北陸地方整備局 河川部
		国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所
		国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

【会場】コラッセふくしま

住所:福島県福島市三河南町1番20号

電話:024-525-4089

## コラッセふくしま 位置図



# 福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

## 第 2 回 安達太良山作業部会の討議概要

日時:平成25年2月1日13:00~16:00  
場所:コラッセふくしま(4F多目的ホール)

### ● 目 的

- ・本作業部会は、福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（委員長：石川芳治教授（東京農工大学大学院））に設置され、安達太良山に関する個別の検討を行うことを目的としています。
- ・検討内容は、安達太良山の噴火シナリオとそれに基づく緊急ハード対策ドリル、緊急ソフト対策ドリル、平常時からの準備事項であり、これらを取りまとめて「安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）」を作成する予定です。

### ● これまでの経緯と今回の討議内容

- ・平成 24 年 1 月 6 日に第 1 回作業部会を開催し、井良沢道也教授（岩手大学農学部）が部会長に選出されました。
- ・第 1 回作業部会では、緊急減災対策砂防計画検討の基本となる、噴火シナリオに関して主に議論を行いました。
- ・今回の第 2 回作業部会では、この噴火シナリオに基づいた被害影響範囲の想定を行い、緊急減災対策の対策方針を検討します。

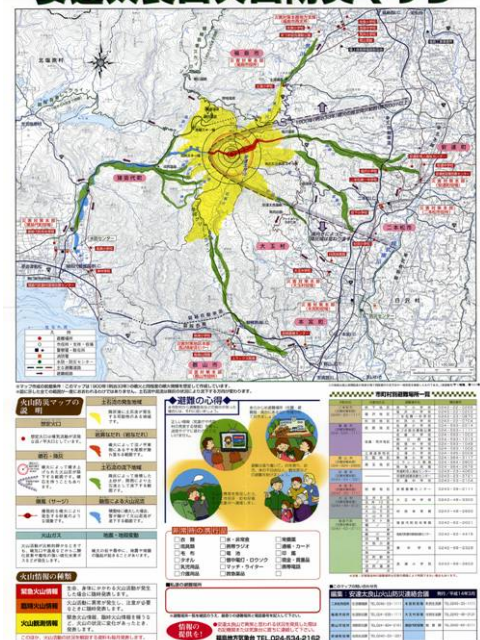
### ● 想定される影響範囲

- ・平成 14 年に公表された「安達太良山火山防災マップ」は、有史以降記録されている噴火のうち、約 110 年前の明治 33 年（1900 年）噴火と同規模の噴火で起こり得る災害予想区域が示されています。
- ・これに対して、緊急減災対策砂防計画検討では、過去約 1 万年間に発生した現象に基づき、噴火シナリオを設定しています。
- ・今回の作業部会では、噴火シナリオに基づく様々なケースの災害予想区域の設定方法、設定条件について討議を行います。
- ・シナリオ毎の災害予想区域は、「安達太良山火山災害予想区域図集」にとりまとめます。

### ● 対策方針

- ・想定される影響範囲の検討を基に、様々なケースを想定した噴火シナリオのうち、緊急対策を検討するケースの抽出を検討します。  
（噴火シナリオのうち被害が生じない微小な噴火や、現実的に対応不可能な大規模な噴火を除外します）
- ・さらに、対策の基本的な方針として対策を始めるタイミングや対策を実施する期間等を検討します。

### 安達太良山火山防災マップ



安達太良山火山防災マップ  
(平成 14 年公表)

以 上



# 福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

## 第2回 磐梯山作業部会の討議概要

平成25年2月1日13:00～16:00  
コラッセふくしま(4F 多目的ホール)

### ● 目 的

- ・本作業部会は、福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（委員長：石川芳治（東京農工大学大学院教授））に設置され、磐梯山に関する個別の検討を行うことを目的としています。
- ・検討内容は、磐梯山の噴火シナリオとそれに基づく緊急ハード対策ドリル、緊急ソフト対策ドリル、平常時からの準備事項であり、これらを取りまとめて「磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画（案）」を作成する予定です。

### ● これまでの経緯と今回の討議内容

- ・平成24年11月6日に第1回作業部会を開催し、井良沢道也氏（岩手大学農学部教授）が部会長に選出されました。
- ・第1回作業部会では、これまでの経緯と現状の把握に関して討議を行いました。
- ・今回の第2回作業部会では、火山噴火緊急減災対策砂防計画の基礎的な資料となる、噴火シナリオ（想定火口や現象の種類・規模等）に関して討議します。

### ● 噴火シナリオの見直し

- ・平成13年に公表された「磐梯山火山防災マップ」（平成24年に改訂版発行）では、1888年（明治21年）の磐梯山噴火と同程度で噴火した際、火山災害がおよぶ可能性のある区域を示しています。
- ・これに対して、火山噴火緊急減災対策砂防計画検討では、過去1万年間に発生した現象に基づき、噴火シナリオを設定します。
- ・今回の作業部会では、マップ公表後に行われた既往研究や火山噴火履歴調査などで得られた知見に基づき、噴火シナリオの見直しについて討議します。



磐梯山火山防災マップ  
(平成24年1月公表、改訂版)

以 上